

横山幸次

区政報告
ニュース

2011年3・4月

号外

発行 日本共産党区議団

3802-4627

fax3806-9246

✉ arajcp@tcn-cat
v.ne.jp

町屋相談室

荒川区町屋5-3-5

3895-0504

✉ yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページを
ご覧下さい。
「横山区議」で検索して
下さい。

裏面 防災福祉
のまちづくり

町屋地域の「計画停電」など 問題解決に全力をあげます



東電に区民の声と状況を伝える
横山区議と申し入れ



計画停電の運用改善と区民負担軽減へ 区と東京電力に申し入れを行いました

3月23日、荒川区議会は、区議会幹事長会の合意のもと議長名で「計画停電に対する申し入れ」を東京電力に行いました。内容は、計画停電への協力は惜しまないことを前提に、「先行きが不透明な状況も踏まえ、公平に痛みを分かち合い、皆が納得できる計画に見直し」を求めるものです。

横山区議が 住民要望を伝える

横山区議も地元議員として同行し、他の区も公平に負担する運用改善と技術的問題の解決、東電として正確な情報を住民に伝える責任、一日2回6時間停電は行わないこと、節電の徹底など強く求めました。

横山区議が計画停電地域の状況と 寄せられている要望を区に申し入れ

3月22日、横山区議は、計画停電対象地域の状況と住民のみなさんの要望を総務企画部長、福祉部長に申し入れました。

第一は、同じ地域が繰り返し停電になり「不公平」という声が広がっており、区としても東電に改善を求めること。第二に、停電で中小業者が臨時休業している事態もあり、実情をつかみ支援を行うこと。第三に、停電によって困難な生活状態になる方々への支援を強めること...などです。

これに区は、同様に考えており、東電に対して働きかけを強めると答えました。



建物・ブロック塀…の耐震調査と補修などに支援を

東日本大震災によって、町屋地域でも木造密集地帯を中心に壁のひび割れや剥落、瓦の落下、都営住宅やマンションの被害など広がっています。今後の余震も心配です。命を守るために今すぐ耐震補強が必要な住宅は、数多く存在しています。建て替えを待っていたのでは、間に合いません。建築基準法、細街路の規定などに一部反していても、何らかの条件を設けて、簡易補強工事を荒川区として検討するときではないでしょうか。



耐震補強のご相談は... 荒川区住環境課3802-3111内線2826

また「商売に支障が出ている」「訴訟を起こしたい気持だ」「高齢者など災害弱者への配慮」など直接東京電力に区民の声を伝えました。横山区議は、引き続き区民のみなさんの声を東電や区に届け、いつそこの改善のために力を尽くします。

震災、計画停電などへのご意見...

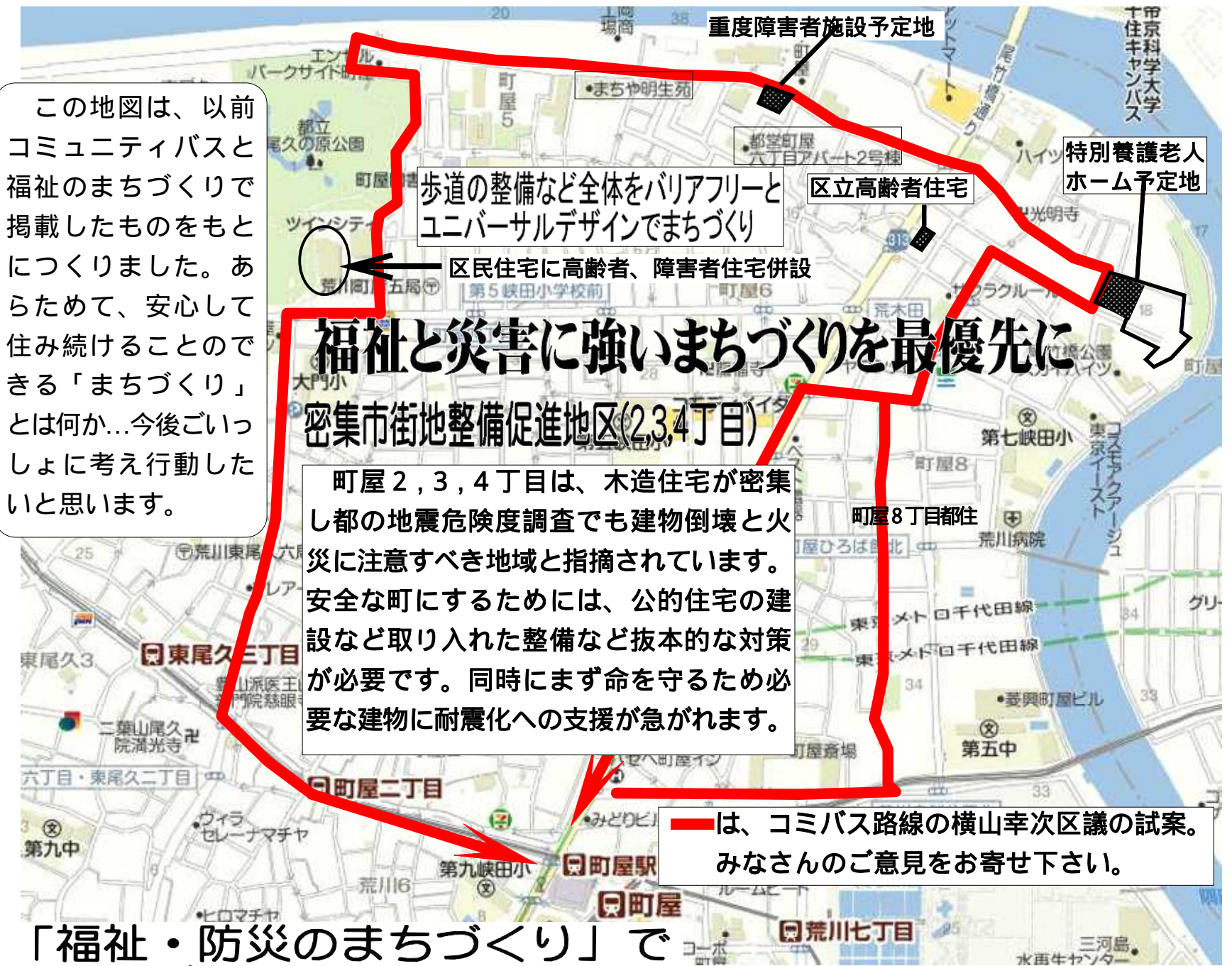
この間寄せられているご意見などご紹介します。

計画停電がはじまって1週間仕事を受けられない 1日2回の停電で休業、今後の業務に支障が出る 非常時で協力したいが地域が偏り余りにも不公平 被害は軽微だったが、今後に備えた避難方法や場所などの徹底が必要 防災無線の放送が聞きづらく、余計に不安なる、改善できないか 一人暮らし高齢者が心配...などなど多数寄せられています。

みなさんから地震や計画停電での状況やご意見が寄せられています。



いまこそ「福祉・防災のまちづくり」を 区のまちづくりを見直しが必要です



この地図は、以前コミュニティバスと福祉のまちづくりで掲載したものをもとにつくりました。あらためて、安心して住み続けることのできる「まちづくり」とは何か...今後ごいっしょに考え行動したいと思います。

福祉と災害に強いまちづくりを最優先に 密集市街地整備促進地区(2,3,4丁目)

町屋2,3,4丁目は、木造住宅が密集し都の地震危険度調査でも建物倒壊と火災に注意すべき地域と指摘されています。安全な町にするためには、公的住宅の建設など取り入れた整備など抜本的な対策が必要です。同時にまず命を守るため必要な建物に耐震化への支援が急がれます。

— は、コミバス路線の横山幸次区議の試案。
みなさんのご意見をお寄せ下さい。

「福祉・防災のまちづくり」で 何が必要でしょうか...

いま東日本大震災への被災者救援と復興支援に全力をあげるときです。同時に、この機会に私たちの地域についても考えることが大事だと思います。これまでの「駅前再開発」中心から区民の多くがくらし、しかも地震危険度の高い地域の改善こそ最優先にするときです。そのために...

まず「密集市街地整備事業」を区のまちづくりの中心になかなか進まない原因は、住み替え住宅や代替地がないことです。やはり公共住宅の整備と一体の取り組みが必要です。同時にバリアフリーと耐震補強も推進して「逃げなくてもよいまち」にしていくなど求められます。

地域内の福祉、介護、医療、子育てなどのネットワークをいっそう強化することです。こうしたソフト面のネットワークこそいざというときの最大のよりどころになります。

みなさんのご意見をお寄せください。



グリーンパール那須を被災者に提供
一般の利用募集が21日の区報に載りましたが、福島県の被災者に急ぎで提供するため中止に。一般利用できません。

地震に原発事故、避難生活を余儀なくされる方がたくさんおられます。区民住宅も一部提供する要です。可能な限り空いている住宅や施設など提供すべきです。

救援募金にご協力下さい

共産党区議団は、区内の被害対策とともに被災者救援活動に取り組んでいます。

いま、救援募金に全力をあげていますので、ご協力をお願いします。